

ハンドボール 戦評用紙

大会	全国高校総体県予選	性別	男子
日時	令和 4年 6月 19日 (日)	決勝	
会場	三郷市総合体育館	THROW-OFF	13 : 00 ~

審判	永田 真也	後藤 拓
----	-------	------

チーム名	total		total	チーム名	
浦和学院	32	14	—	12	浦和実業
		18	—	15	
		—			
		—			
		7mTC			
			27		

戦 評

浦和学院のスローオフから始まった決勝戦。両校激しい攻防戦の末、浦和学院6番石井が先制点を決める。浦和実業は準決勝戦での1-5ディフェンスを継続。試合序盤から選手同士の接触が激しく、熱い展開となり、浦和実業1回目のタイムアウト時は7-7の同点であった。中を厚く守る浦和実業はスカイプレーや一瞬できたDFの間を見逃すことなく矢を射るような攻撃を展開する。対して浦和学院は中での展開に苦しむ場面が多く見られたが、5番平岡と9番大久保のサイドシュートが安定性を保っており、2点リードで前半を終える。後半の先制点は浦和学院。攻撃のリズムが作られ開始6分で6点を決める展開となった。ラインの高い1線DFを継続している浦和学院は、ここで決め切りたい攻撃側を向かい入れるかのように浦和学院1番久保形が阻止し続け、得点を量産していく。このまま浦和学院が流れを持っていくかと思われたが、浦和実業1番小林の好セーブ、9番小山の体格差を感じさせない体を張ったプレーから、着々と得点を重ねていく。猛攻が繰り広げられる中、終始浦和学院の攻撃を苦戦させた浦和実業だったが点差を埋めきることはできず32-27で浦和学院が勝利をものにした。

戦評記入者

吉田 楓